

うさぎとかめ通信

上越市立高田幼稚園

(週刊：園長室だより) 106周年

令和4年6月30日 第154号

HPのQRコード→

「思い→体験→表現」は、幼児・児童・生徒に一貫する、遊び・学びの基本!



【速報：旧師団長官舎さんから竹をいただきました。きれいな七夕飾りを作ります。】

子どもの姿から

【ドイツのカードゲームです】→

20日(月)に、国際交流員のディーツ・ヤニックさんと交流しました。

来園されたドイツ人のヤニックさんと、みんなで交流を楽しみました。保護者の皆様も参観されました。ドイツ語での自己紹介の仕方や挨拶を習い、みんなで遊戯室の中を動いてドイツ語で挨拶をしました。また、ドイツ語の数え方や色の名前も発音しましたが、ちょっと難しかったです。手遊び歌の「Schokolade」(ショコラーデ)も面白かったです。ディーツさんにとっては、これまでで最年少児との交流だったそうです。ディーツさんからはドイツの「神経衰弱カード」をいただき、お返しに高田幼稚園から「七夕の竹飾り」をお贈りしました。途中、能登半島を震源とする緊急地震速報が入り、子どもたちは保護者の皆様と一緒に遊戯室でそのまま待機しました。みんな上手に安全なダンゴムシポーズができました。上越市は震度3。無事でよかったです。



園庭・園舎から

【キュウリの森からキュウリを収穫】→

21日(火)は、読み聞かせの会でした。ボランティアの皆様からたくさん読んでいただきました。うめ組とまつ組の皆さんには、『だいくとおにろく』や『だんごむしつけたよ』などです。もも組の皆さんには、『ぞうくんのさんぽ』などです。面白かったですね。

22日(水)は、スクールマネジメント訪問でした。今年度も上越市教育委員会の清水管理指導主事様が訪問されご指導いただきました。子どもたちの遊びの様子を優しくていねいに参観していただき、声もかけていただきました。ご指導いただいたことを、幼稚園経営に生かして、子どもたちを巡る適切な環境づくりに努めます。



キーワード

【上越科学館のチガヤの丘に佇めば】→

○国際交流員

一般財団法人自治体国際化協会の実施する「語学指導等を行う外国青年招致事業」により招致され、国際交流活動に関する職務に従事する外国青年のことです。

上越市は、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会でドイツのホストタウンとなりました。そして、令和元年8月からドイツ文化の情報発信やドイツ人選手のサポートを担う日本語の堪能なドイツ人国際交流員を任用しました。その人が、ディーツ・ヤニック(Dietz Yannick)さんです。主な職務は、国際交流イベントの実施、学校訪問・市民講座の実施、ドイツを紹介する広報活動などです。上越の豪雪にびっくりしつつ、スノーボードで訪れた妙高の雪質は世界一と話されていました。大好きな食べ物は、蕎麦とチョコレート。上越に深い愛着をもたれている、ヤニックさん。

ありがとうございました。(参考：上越市のサイト)

